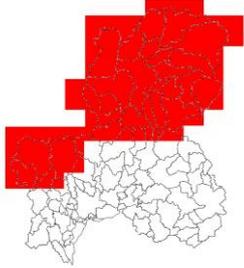


ノビネチドリ	<i>Neolindleya camtschatica</i> (Cham.) Nevski	準絶滅危惧
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	写真(山崎玲子) 
形態の特徴	高さは20-60cm。葉は4-10枚付く。茎の中央以下に付く葉は楕円形で先が丸く、縁が波打つ。茎には稜があり、上部に多数の淡紅紫色の花が付く。唇弁は6mm程で先が浅く3裂する。距は4mmと短い。花期は5-8月。	
生態的特徴	亜高山～高山帯の草地に生える。	
分布状況	北海道、本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方および美濃地方北西部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		

文責:山崎玲子